

地域福祉交通「風ぐるま」事業平成 31 年度予算について

1 要求内容

平成 30 年度第 1 回運行協議会（平成 30 年 8 月 31 日開催）における報告のとおり、財政当局に対し、「新ルートの設置」を含む風ぐるま関連事業に係る予算要求を以下のとおり行った。

予算要求内容（新規・追加分）

事業	内容	金額（千円）	前年比（千円）
付帯事業	停留所環境向上費用、車両・停留所修繕費、バス利用促進啓発事業費等	10,550	+8,550
準備事業	新ルート設置事業費（車両購入、停留所整備費等）	51,400	+51,400
	合 計	61,950	+59,950

※新ルートとは、麴町・神田地域に、双方向の運行となるような 2 ルートを新たに設定するもの。

※基本事業（運行経費）は除く。

2 査定結果

要求に対する財政当局の査定の結果は、以下のとおりである。

予算査定結果（新規・追加分）

事業	内容	金額（千円）	前年比（千円）
付帯事業	停留所環境向上費用、車両・停留所修繕費等（予算の範囲内で実施）	3,300	+1,300
準備事業	-	0	0
	合 計	3,300	+1,300

付帯事業については、例年停留所環境向上費など 200 万円程度の予算が計上されている。平成 31 年度は、バス利用促進啓発事業費などの増額要求は認められなかったが、停留所環境向上や車両・停留所修繕費の確保等の必要性など踏まえ前年比 130 万円の増額となった。

一方、準備事業（新ルート設置）については、予算措置ができず、平成 31 年度は風ぐるま事業の目的や今後の到達点について抜本的な整理を行うべきだとする課題をいただいた。